

# 29. 奈良県



## 29 奈良県

## A. 医療提供体制の現状

奈良県の特徴は、(1) 全国平均レベルの医療資源、(2) 南和の人口と医療の過疎、(3) 北部の医療圏を超えての患者移動と西和地域の大阪への患者移動である。

## (1) 全国平均レベルの医療資源

県全体の病床数、一般病床数、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数の偏差値が 50 前後であり、全国の平均レベルである。数年前は産科を中心に救急医療体制の不備が指摘されたが、近年急速に整備されつつある。

## (2) 南和の人口と医療の過疎

吉野以南の南和地区は山岳地帯であり、奈良県の面積の 64% を占めるが、人口は 8 万人程度で 6% に過ぎない。県内シェアは、病院勤務医 3%、全身麻酔 1%、総看護師 4% であり、人口比率以上の医療過疎である。奈良県の医療のほとんどが北部で行われている。

## (3) 北部の医療圏を超えての患者移動と西和地域の大阪への依存

北部の 4 医療圏は、医療圏を超えての患者移動が激しい。また、京都府の山城南部の患者が奈良県の医療施設をよく利用する一方、北部の医療圏、特に西和の患者は、大阪市内の医療施設をよく利用する。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (奈良)

奈良の偏差値は、一般病床 (53)、病院勤務医 (46)、全身麻酔件数 (50)、総看護師数 (47) であり、病院勤務医数が全国の県庁所在地の中で、さいたま市、宇都宮市に次いで、3 番目に少ない。一方、西和や京都府南部から多くの患者が奈良を受診し、奈良から東和の医療機関を受診する患者も多いなど、奈良県北部は、医療圏を超えての患者の移動が多い地域である。奈良の勤務医数の少なさも、奈良が勤務医の多い東和や中和など一体の地域と捉えれば、評価は変わる。2010→35 年のこの地域の医療の総需要が 7% 増、0-64 歳が 37% 減、75 歳以上が 75% 増であり、奈良県全体でみても 0-64 歳の減少が大きいので、急性期病床の後期高齢者対応病棟への転換、高齢者向け住宅の増強、地域内や他の医療圏とのネットワークの強化などが必要である。

**(東和)**

東和には基幹病院として天理よろづ相談所病院があり、一般病床の偏差値（61）、病院勤務医（61）、全身麻酔数（63）、総看護師数（54）と、非常に高い。奈良から多くの患者が受診する一方、西和や中和の医療機関を受診する患者も多いなど、医療圏を超えての患者の移動が多い地域である。2010→35年の医療の総需要が2%減、0-64歳が36%減、75歳以上が44%増であり、急性期医療提供体制の過剰感が強まる可能性が高いので、急性期病床の削減や後期高齢者対応病棟への転換、高齢者向け住宅の増強などが必要である。

**(西和)**

西和の偏差値は、一般病床（46）、病院勤務医（45）、全身麻酔数（50）、総看護師数（45）であるが、奈良県の他の医療圏のみならず、大阪への患者移動の多い地域であり、偏差値で示された数字以上に充実した医療を受けられる環境にある地域である。2010→35年の医療の総需要が5%増、0-64歳が37%減、75歳以上が81%増であり、高齢者向け住宅の増強などが必要である。

**(中和)**

奈良県立医大のある中和は、奈良県最大の人口規模の医療圏でもあり、奈良県の医療提供の中心である。偏差値は、一般病床（48）、病院勤務医（60）、全身麻酔数（49）、総看護師数（49）であり、病院勤務医数が多い。2010→35年の医療の総需要が10%増、0-64歳が27%減、75歳以上が73%増であり、今後この地域及び奈良県全体での急性期医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。まず、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要がある。更に、医師養成数の適正化とこの地域で働く医師の医師不足地域での勤務を促す誘導策、急性期病床の縮小化などが実施されることが望ましい。

**(南和)**

奈良県南部の山岳地帯に広がり、奈良県の面積の64%を占める医療圏であるが、人口8万2千人、奈良県の人口比率の6%に過ぎない。一般病床（52）、病院勤務医（41）、全身麻酔数（34）、総看護師数（41）であり、医療過疎の状況にある。2010→35年の医療の総需要が20%減、0-64歳が47%減、75歳以上が4%増であるので、集約とネットワークを基本に、奈良県北部からの支援や連携の強化、協定を結んでいる和歌山県のドクターヘリの有効活用などを中心に医療機能を維持することが求められる。

表 29-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
奈良県	1,400,728	29位	3,691	40位	379.5		24%	-21%	64%
奈良	366,591	26%	277	8%	1,324.2	大都市型	24%	-22%	75%
東和	219,869	16%	658	18%	334.1	地方都市型	25%	-24%	44%
西和	350,407	25%	169	5%	2,078.7	大都市型	24%	-22%	81%
中和	382,012	27%	241	7%	1,586.9	大都市型	22%	-14%	73%
南和	81,849	6%	2,347	64%	34.9	過疎型	32%	-36%	4%

図 29-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

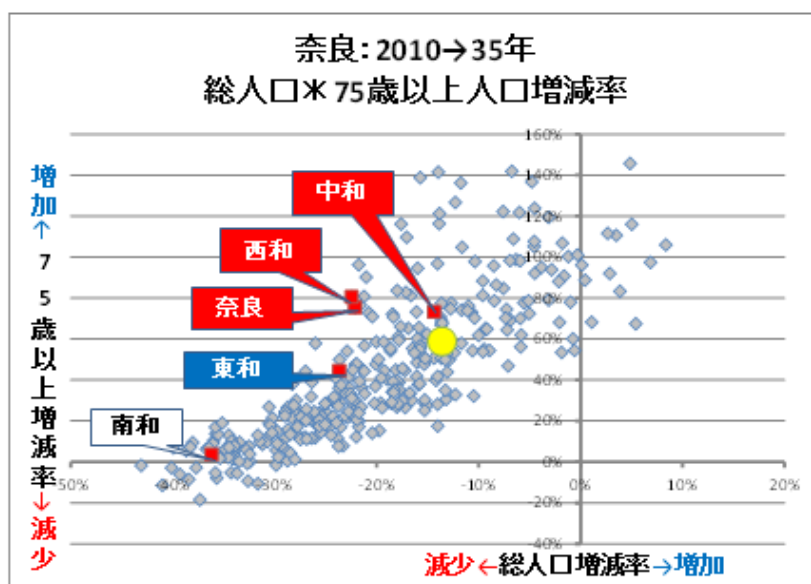


表 29-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
奈良県	17,491	1.0%	1,249	49	10,363	1.1%	740	51	14,482	1.1%	94	49
奈良	4,428	25%	1,208	48	2,896	28%	790	53	3,877	27%	98	51
東和	3,013	17%	1,370	51	2,155	21%	980	61	2,105	15%	78	41
西和	4,256	24%	1,215	48	2,135	21%	609	46	3,877	27%	109	57
中和	4,757	27%	1,245	49	2,560	25%	670	48	3,321	23%	89	47
南和	1,037	6%	1,267	49	617	6%	754	52	1,302	9%	89	47

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012  
 (A. 「医療提供体制の現状」、表29-1、表29-2、表29-5、図29-4)

図 29-2 病床数（人口 10 万当たり）、総高齢者ベッド数（75 歳以上 1,000 人当たり）

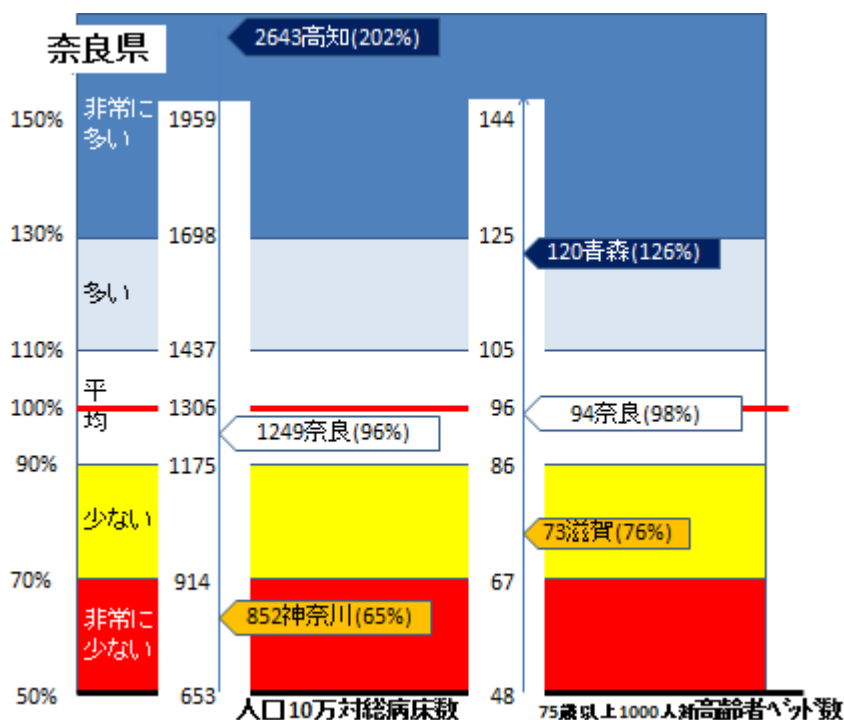


表 29-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
奈良県	3,218	1.0%	230	49	852	1.4%	61	53	2,946	0.8%	210	47
奈良	689	21%	188	47	143	17%	39	48	600	20%	164	45
東和	568	18%	258	50	194	23%	88	59	86	3%	39	39
西和	972	30%	277	51	296	35%	84	58	853	29%	243	49
中和	833	26%	218	48	219	26%	57	52	1,143	39%	299	51
南和	156	5%	191	47		0%	0	39	264	9%	323	52

表 29-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
奈良県	3	1.5%	2.1	52	5	1.3%	3.6	52	928	1.1%	66	49
奈良	1	33%	2.7	55	2	40%	5.5	57	220	24%	60	48
東和	0	0%	0	43	1	20%	4.5	55	210	23%	95	57
西和	1	33%	2.9	55	1	20%	2.9	50	248	27%	71	51
中和	1	33%	2.6	54	1	20%	2.6	49	219	24%	57	47
南和	0	0%	0	43	0	0%	0	42	31	3%	38	42

表 29-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
奈良県	1,856	1.2%	133	52	8,503	1.0%	607	48	20,430	1.1%	1,459	51
奈良	382	21%	104	46	2,150	25%	587	47	5,190	25%	1,416	50
東和	401	22%	182	61	1,644	19%	748	54	5,358	26%	2,437	63
西和	342	18%	98	45	1,934	23%	552	45	4,842	24%	1,382	50
中和	668	36%	175	60	2,399	28%	628	49	4,910	24%	1,285	49
南和	63	3%	77	41	375	4%	458	41	130	1%	159	34

図 29-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

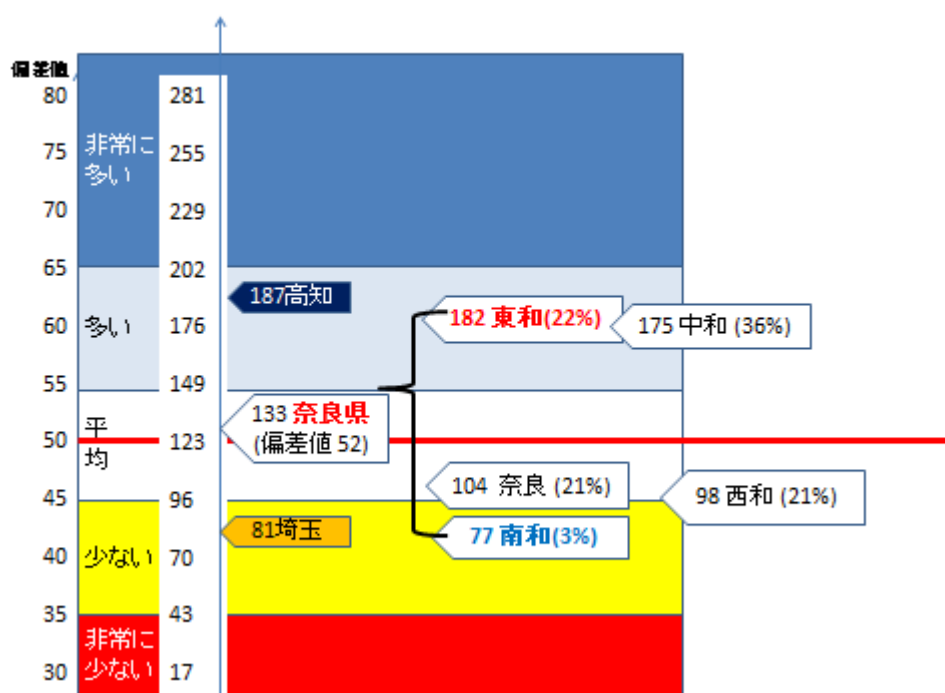


図 29-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

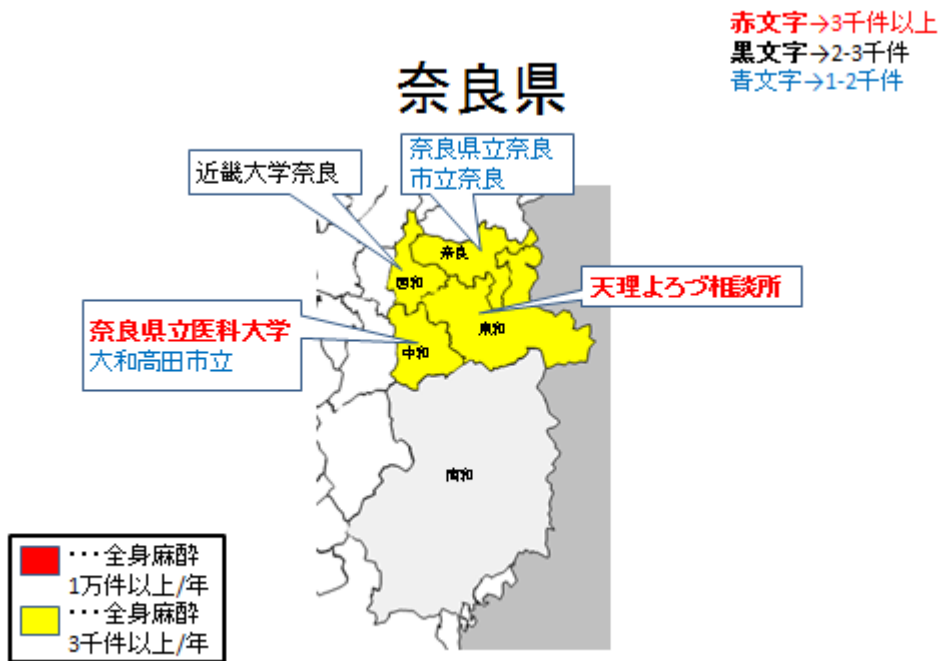
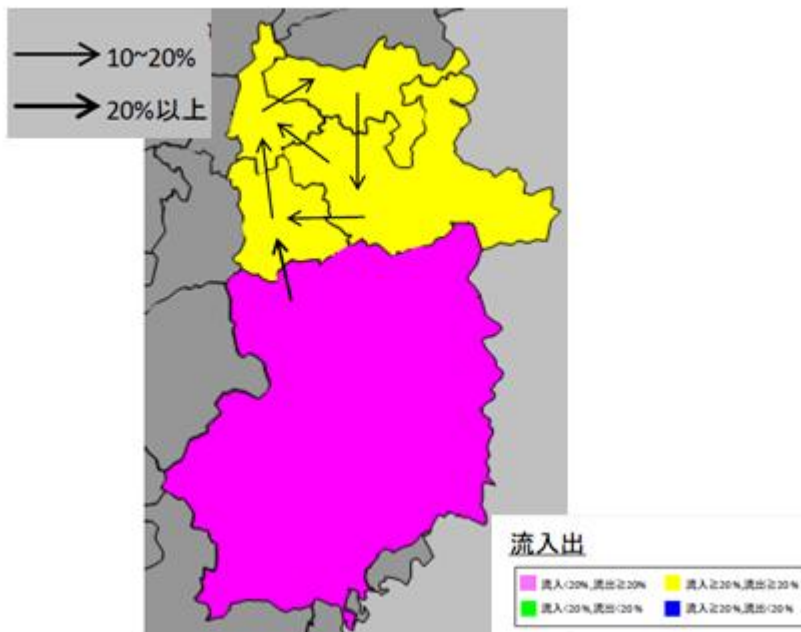


図 29-5 二次医療圏（流入出）



厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3  
(図 29-5)

表 29-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	介護保険施設			老人保健施設収容数 (再掲)			特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)				
		全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値		
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
奈良県	8,051	1.1%	52	52	3,094	1.0%	20	47	4,957	1.3%	32	54
奈良	1,594	20%	40	42	598	19%	15	38	996	20%	25	47
東和	1,388	17%	51	51	450	15%	17	41	938	19%	35	56
西和	1,957	24%	55	54	806	26%	23	51	1,151	23%	32	54
中和	2,264	28%	61	59	880	28%	24	53	1,384	28%	37	59
南和	848	11%	58	57	360	12%	25	55	488	10%	33	55

表 29-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	高齢者住宅			有料老人 ホーム計			グループ ホーム				
		全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値		
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
奈良県	6,431	1.0%	42	48	1,887	0.8%	12.2	46	1,477	0.9%	9.6	47
奈良	2,283	35%	58	57	668	35%	16.9	50	476	32%	12.1	51
東和	717	11%	26	40	177	9%	6.5	41	229	16%	8.5	45
西和	1,920	30%	54	55	842	45%	23.7	56	364	25%	10.2	48
中和	1,057	16%	28	40	170	9%	4.5	39	309	21%	8.3	45
南和	454	7%	31	42	30	2%	2.1	36	99	7%	6.8	43

表 29-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35年の医療・介護の需要予測				2010→35 総介護 需要
			2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
奈良県		4%	-35%	-15%	-27%	64%	52%
奈良	1	7%	-37%	-12%	-28%	75%	61%
東和	2	-2%	-36%	-19%	-30%	44%	36%
西和	1	5%	-37%	-18%	-30%	81%	64%
中和	1	10%	-27%	-6%	-19%	73%	60%
南和	3	-20%	-47%	-33%	-41%	4%	0%



図 29-6 奈良県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

